

麻疹ワクチンの接種を希望の方へ (2018)

沖縄を經由した麻疹の流行が伝えられています。台湾から持ち込まれたようですがアジア地域は麻疹風疹おたふくかぜなど常在流行地ですので特に珍しいことではありません。麻疹ワクチンを接種していない、あるいは1回しか接種していない、そして罹患の記憶があまりない方たちからの麻疹ワクチンに対する問い合わせが多くなっています。2007年の関東学生に端を発した麻疹騒動、2013年の全国的な風疹騒動と先天性風疹症候群の衝撃、2016年の関東での麻疹騒動、これは麻疹を2回接種していた世代の感染と大学での院内感染が注目されました。これらの教訓がまったく生かされていないようです。

麻疹ワクチンを2回接種していても約10%は免疫がありません。麻疹が不安な人たちの多くはそれ以外の免疫に関してもあてになりません。この地区の成人の感染症免疫率は、麻疹12%、風疹22%、おたふくかぜ50%、水痘3%で陰性です。事前検査をして無駄な接種を防ぎましょう。麻疹だけでなく風疹・おたふくかぜ・水痘の4種類の免疫の確認が不可欠であることを理解いただき、これら4種類（水痘の罹患が確実なら3種類）の抗体検査をして、陰性のものだけを接種するように推奨しています。2~3種類まとめて接種できるので追加接種は1日で大丈夫です。料金（内税）は下記を参照ください。これが最も安全・有効・経済的で無駄なく必要な免疫をより早く獲得する方法です。

これらの麻疹・風疹・おたふくかぜ・水痘の生ワクチンの効果は、免疫ができれば接種日以降で有効です。母子手帳はできるだけ持参ください。

①麻疹の免疫抗体検査を、NT法、PA法、ELISA/IgGで検査して陰性であることを証明するものをお持ちの方は、麻疹ワクチンまたはMRワクチンを接種します。麻疹は1回では85%にしか陽転しませんから6週間後に再検査して陽転を確認するまでは感染を防げません。その時に残りの抗体検査もします。さらに陰性のものがあれば追加しましょう。

②麻疹の免疫が陰性で、後日の抗体検査を希望されない方は念のためMR《麻疹と風疹》か、MMR《麻疹風疹おたふく》で接種します。後日陽転を確認しなければ不安は解消されません。

③1週間ほどの余裕がある方はきちんと抗体検査します。追加接種が必要な方は優先的に接種できるようにします。結果は3-4日後に電話でお答えしています。検査データは追加接種時にお渡しします。追加接種分は6週間後に再検査して陽転を確認ください。

④緊急での麻疹予防接種を希望の方は状況によっては接種しますが、同時に麻疹風疹おたふく(水痘)の抗体検査をしてください。3~4日後には結果が判りますから陽性なら安心できます。陰性なら6週間後に陽転確認検査をします。

免疫の検査方法は、以下のスクリーニングセット検査法を推奨します。麻疹《PA法》、風疹《HI法》、おたふくかぜと水痘《ELISA/IgG法》です。4種類で5200円、水痘以外の3種類で4200円です。当日検査のみ希望なら、面談料名目（初診料と選定療養費相当）で3240円いただきますが後日不足分の接種時に返金します。セット検査以外での検査料金は、麻疹4300円、風疹4100円、おたふく・水痘5500円です。ワクチン接種料金は、麻疹：6200円、風疹：6200円、MR2種混合：9300円、MMR3種混合：10000円、おたふくかぜ：5700円、水痘：7200円です。その他質問があれば連絡ください。